

# GLOBAL APPEAL 2010

ハンセン病に対する  
スティグマ(社会的烙印)と差別をなくすために

病気そのものよりはるかに耐えがたいのは、  
この病気に対する社会の態度である、とハンセン病の患者や回復者の人々は訴えています。

ハンセン病は治る病気です。  
しかし、ハンセン病がもたらす問題は、病気が完治しても終わることはありません。

ハンセン病に罹った多くの人が、スティグマ(社会的烙印)や差別のために  
教育や就業の機会を制限され、病気が治った後もなお社会から疎外されています。

私たちは、ハンセン病患者・回復者も他のすべての人と  
同等の権利と機会を有するものであると考えます。

私たちは、ハンセン病患者・回復者が社会に復帰し  
経済力を持てるようになるべきであるという根本原則を、支持します。

